



東京消防庁と人材確保に係る協定を締結



横田本部長は「今回の協定により、数年間の勤務期間を有する「任期制自衛官」の採用、その後の「就職支援」について、互いに協力することで、必要な人材の確保と活躍の場を提供できるものと認識しています。この魅力的な施策をより多くの方々に知っていただき、人を守る、人を助ける仕事に関心を寄せていただくことに期待します。」と述べた。

東京地本は今後も積極的に各機関と連携し、自衛隊の人的基盤の充実に図り、国民の負託に応えられるよう、引き続き業務に邁進するとしている。

自衛隊東京地方協力本部（本部長 横田隆将補）は1月30日、スクワール麹町（千代田区）において、東京消防庁（門倉人事部長）と「自衛官及び消防職員の募集採用活動に関する協定書」を締結した。

この協定は、任期制自衛官や消防職員に関して少子化等を背景とする厳しい募集採用活動に対応するため、双方の人材確保や効率的な募集採用活動を目的とし、相互の協力体制を強化するため、建設的な協議を重ね協定締結に至ったものである。

協定では、東京地本と東京消防庁が双方の採用制度や人材募集の取組み等について理解を深め、職業説明会等のイベントを実施する際は相互に参加を要請できることとした。また、東京消防庁の採用は狭き門であるところ、任期制自衛官として勤務しつつ、消防を受験して合格した場合でも途中退職することなく、任期満了後に特別退職手当を得て入庁できる制度が定められた。さらに、協定に基づく第一歩として東京消防庁と合同で業務説明会を実施し、公安系公務員を希望する就職活動中の募集対象者等に対し、自衛隊の概要、職域、魅力等を説明し志願化への足掛かりとした。



入隊予定者等が横須賀基地を見学



新小岩募集案内所は今後も所員一丸となり、部隊等と連携しながら、防衛省・自衛隊に対する理解と関心を深め、入隊者獲得のための努力を惜しまないとしている。

当日は、護衛艦「くまの」の艦内見学をはじめ、「曳船」での港内クルーズ及び横須賀地方総監との懇談が行われた。特に懇談では、参加者からの質問が途切れることなく、終始活発な雰囲気の中貴重な体験ができた。また、護衛艦「くまの」の見学についても乗員の詳細な説明のもと最新鋭の艦内をくまなく見学し、その装備及び機能に興味津々な様子が見られた。参加者は、国防の最前線であるくまのと勤務している隊員の姿に触れ「少し怖いイメージの自衛隊でしたが、皆優しく親切で入隊への不安が解消されました」「横須賀地方総監との懇談により自衛官を目指す気持ちが高まりました」との感想が聞かれた。



自衛隊東京地方協力本部新小岩募集案内所（所長 藤野1陸尉）は2月13日、入隊予定者等25名に対し、入隊意欲の向上、入隊への不安の払拭及び自衛隊への理解を深めることを目的に海上自衛隊横須賀基地見学を実施した。本企画は、入隊予定者への個別の案内及びSNSを活用した情報発信により多数の応募を受けて計画・実行したもの。